

(別紙4(2))

事業所名 あおぞらの里グループホーム 黒崎作成日: 平成 30 年 12 月 13 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	家族の参加は多いが、地域からの参加者が少ないため、地域で活動している有識者や知見者の参加を募り、ホームからの報告会に終わらせず、地域の課題解決や地域との協働事業にも繋がる会議運営を目指していく。	参加委員として、地域で活動している有識者や知見者(薬剤師、市民センター館長、交番の警察官、他グループホーム管理者等)に声を掛け、様々な意見を集約し、ホームや地域の課題について話し合ったり、勉強会を実施する等、内容の充実に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	非常災害時に、夜勤者1名で9名の利用者を安全に避難場所に誘導する体制作りに取り組み、そのための避難訓練を頻繁に行っていく。	災害時に備えて、地域住民の協力を確保し、非常時に非番の職員や地域住民に駆けつけてもらう体制作りに取り組み、利用者が安全に安心して暮らせるグループホームを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。